

平成 26 年度

事業報告・決算書

公益財団法人松山市男女共同参画推進財団

目 次

事 業 報 告 書	・ ・ ・ ・ ・ 1
貸 借 対 照 表	・ ・ ・ ・ ・ 17
正味財産増減計算書	・ ・ ・ ・ ・ 18
正味財産増減計算書（内訳表）	・ ・ ・ ・ ・ 20
財 産 目 録	・ ・ ・ ・ ・ 22
附 属 明 細 書	・ ・ ・ ・ ・ 23
財務諸表に対する注記	・ ・ ・ ・ ・ 24
収支計算書（参考資料）	・ ・ ・ ・ ・ 26
監 査 報 告 書	・ ・ ・ ・ ・ 31

事業報告書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

平成24～26年度テーマ 「つながろう つなげよう 男女共同参画の輪」

1 男女共同参画のために必要な情報の収集及び提供

男女共同参画に関して必要な情報を収集し、市民が手軽に利用できるよう整理し提供した。

(1) 図書・資料の収集及び提供

男女共同参画の視点で書かれた図書・ビデオ・DVD（女性学関連、教育・子育て、こころ、からだ・健康等19分野に分類）や男女共同参画に関する資料等を選定・収集し、閲覧や貸出を行った。

- ・蔵書数： 4,508冊 ビデオ・DVD： 70本 パソコン： 4台
- ・貸出状況

年度	書籍	ビデオ・DVD
26	6,887冊	5本
25	7,081冊	4本
前年比	97.3%	125.0%

パソコン利用件数
2,948件
2,974件
99.1%

(2) 情報の提供

男女共同参画に関する各種情報やセンター事業の広報及び市民活動に役立つ情報等を提供するため、情報誌「コムズ」を公募による市民リポーターとともに年間2回編集・発行した。

○情報誌「コムズ」

- ・市民リポーター：3名（公募） 任期：平成26年4月1日～平成28年3月31日
- ・発行時期 :年2回 平成26年6月・平成27年3月
- ・部数 :各7,000部
- ・配布箇所 :支所、保育園・幼稚園、小・中学校、金融機関、病院等1,300箇所
愛媛県外 60箇所

(3) 学習資料作成

男女共同参画社会実現に向けて市民の意識啓発を図るため、子育て世代のパパを対象としたイクメン手帳「パパパス」を作成した。

- ・部数：2,000部

(4) 意識啓発

県市主催の各種催事に出展したり映画上映会を開催したりすることで、男女共同参画社会づくりの啓発に努めた。

○第19回男女共同参画社会づくり推進県民大会

家庭・地域・職場において、男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発と実践活動を積極的に進めていくために開催された「県民大会」に参加した。

- ・開催日：平成26年6月17日（火）12:00～16:00
- ・開催場所：愛媛県生涯学習センター
- ・内容：パネル展示

○みんなの生活展2014

市民・行政・事業者が互いに力を合わせて問題解決に取り組み「安全・安心に暮らせる社会」を実現することを目的に開催される「みんなの生活展」に参加した。

- ・開催日：平成26年10月18日（土）・19日（日）10：00～16：00
- ・開催場所：大街道商店街
- ・内 容：「女性が働き続けること」をテーマにアンケート実施 参加者：383名

○人権啓発フェスティバル2014

人権尊重意識の普及、高揚を目的とした人権啓発事業の一環として開催される「人権啓発フェスティバル」に参加した。

- ・開催日：平成26年12月14日（日）11：00～16：00
- ・開催場所：松山市総合コミュニティセンター
- ・内 容：パネル展示

○松山市人権教育研究会

人権に関わる社会問題の解決に向けて果たすべき役割を、市民一人ひとりが確認し、人権教育の推進を図る「松山市人権教育研究会」に参加した。

- ・開催日：平成27年1月16日（金）10：00～15：30
- ・開催場所：松山市総合コミュニティセンター
- ・内 容：パネル展示

○映画上映会

男女の多様な生き方や男女共同参画の視点がある作品を上映することにより、映像を通して参加者が男女共同参画について考える機会を提供した。

また、上映に際し作品テーマに関連したミニトークを行い、男女共同参画についての理解を深める場を提供した。

- ・開催状況

開催日	上映作品名及びトークゲスト	参加者	女 性	男 性	25年度
7/5（土）	幸せへのキセキ	103名	82名	21名	140名
	ゆめがたりパパの会 (絵本読み聞かせパパグループ)				
11/22（土）	少女は自転車に乗って	82名	62名	20名	85名
	清水 昇（サウジアラビア王国ジッダ 日本人学校前校長）				

○“シネマ&トーク”

コムズフェスティバルのアフターイベントとして、男女共同参画の視点のある作品を上映するとともに作品テーマに関連した内容のトークを開催し、映像を通して男女共同参画について考える機会を提供した。

- ・開催日：平成27年2月14日（土）13：00～16：10
- ・上映作品：「きなこ～見習い警察犬の物語～」(2010/日本/113分)
- ・ゲスト：丸亀警察犬訓練所（警察犬訓練士）川西 智紗さん 訓練所所長、
（訓練犬）きなこ・あんこ
- ・参加者：250名

(5) ホームページ

センターの講座等の情報をはじめ、男女共同参画に関する各種情報の提供及び市民からの情報収集をめざした。ホームページの更新（月2回／1日と15日）

また、あらたにフェイスブックを開設し、迅速でわかりやすい情報提供をめざした。

・アクセス状況

	26年度	25年度
総アクセス件数	40,925件	40,668件
施設利用案内	6,194件	8,243件
講座・セミナー	4,800件	4,162件
情報発信広場	1,702件	1,852件
相談室	1,504件	1,223件
ファミリー・サポート・センター	5,121件	4,388件
お知らせ	13,273件	11,125件
活動概要	1,351件	1,181件
関係機関とのリンク	615件	676件
交通アクセス	6,365件	7,818件

2 男女共同参画社会づくりに関する市民活動及びネットワークの形成の促進

男女共同参画に向けた主体性のある市民活動を推進するため、個人や団体・グループ等の交流の機会と場を提供する支援を行った。また、登録団体・グループ等との連携による事業展開を図るためのネットワークづくりを促進した。

(1) テーマ別交流研修会

特定のテーマについて、関連のあるグループ・団体との交流研修会を開催し連携を図りつつ課題解決をめざした。

○市民活動グループ対象交流研修会

第16回コムズフェスティバル市民企画分科会を企画・運営した市民グループ等を対象に開催。各グループが「成果と課題」について報告後、今後の活動に生かすために積極的に意見交換をした。さらに市民活動を推進していくうえで、共通する課題を取り上げ、解決に向けて専門家よりの確かな指導助言を受けた。

開催日：平成27年2月21日（土）10：00～12：00

講師：愛媛大学社会連携推進機構教授 前田 眞

参加者：14団体（17名）

○次世代ワークスタイル事業

企業や市民に対し、女性活躍推進の必要性について意識啓発を図るために、一般社団法人愛媛県法人会連合会に委託し、県外講師を招いての基調講演、2つの分科会、6回の勉強会を開催した。

・基調講演「生物学から考える女性活躍推進」

参加者137名（女性100名 男性37名）

- ・分科会1「女性活躍推進について ～女性従業員対象～」
参加者17名（女性15名 男性2名）
- ・分科会2「女性活躍推進について ～社長・経営幹部連合～」
参加者26名（女性14名 男性12名）
- ・勉強会 「まどんなメンターネット勉強会（3回）」
「社長・経営幹部連合勉強会（3回）」

(2) 男女共同参画市民活動支援事業

男女共同参画の推進に関する市民の自主的な企画・運営による講座等の開催を促進するため助言・活動費の助成・場所の提供を行った。

- ・助成額：1グループ最高限度額 75,000円
- ・助成数：7団体

(実施順)

団体・個人名	企画内容	開催時期・参加者数	支援内容
愛媛日仏文化交流会	講演会 『『赤毛のアン』の魅力 ～カナダ出身ダニエル栗原さんを迎えて～』	平成26年 6月29日(日) 女性：47 男性：5	助成金 場所提供
スイートピー	ワークショップ 「中学生の職業選択のための フラワーアレンジ体験講座」	8月8日(金) 女性：10 男性：5	助成金 場所提供
NPO 法人松山子ども 劇場 21	映画上映とミート・シネカフェ 夏休み公開子育て講座 「かすかな光へ」	8月27日(水) 女性：55 男性：13	助成金 場所提供
ピアリンク in えひめ	講演会「守ろう！思春期のココロと カラダ」 ① 若者必見！将来の妊活の前に知 っておきたいエトワ ② デートDVってなんだろう ③ 性の多様性って、ホントはどうゆ うこと??	① 7月27日(日) ② 10月5日(日) ③ 11月2日(日) 女性：36 男性：11	助成金 場所提供
松山市エアロビクス協 会	ワークショップ 「自分でできる体調改善セミナー 不定愁訴撃退！ホルモンバランス調整アプ ロチ 自分でできるコンディショニング」	11月16日(日) 女性：24 男性：4	助成金 場所提供
トランジションえひめ	講演会「幸せの種まき企画 ～7世代先の未来のために 子供たちの応援団でありたい～」	12月23日(火) 女性：12 男性：3	助成金 場所提供
NPO 法人全日本健康 音楽研究会	講演会&ワークショップ 「健康と運動」	平成27年 1月17日(土) 女性：26 男性：16	助成金 場所提供
支援事業報告会	各支援団体からの報告	3月14日(土) 7団体	

(3) 登録団体交流会「コムズde遊ぼう」

コムズ登録団体による展示や体験型のイベントを通して、日頃の活動を紹介することを目的に、コムズフェスティバルのプレイベントとしてコムズ全館を会場に開催した。

- ・開催日：平成27年1月25日（日）10:00～15:00
- ・参加団体：21団体
- ・来館者数：1,242名（女性：1,051名 男性：191名）

3 男女共同参画促進のための研修会等の開催

男女共同参画の視点を踏まえつつ、多様な価値観を持った市民の主体的な学習を支援するとともに、実践につなぐためのセミナーやシンポジウムを開催し、学習の機会と場を提供した。

(1) 出張講座

男女共同参画社会づくりをめざして意識啓発を図るために、市民グループ向けと事業所向けのプログラムをそれぞれ整備し、希望のテーマに沿った講師を派遣した。

派遣状況

年度	派遣回数（うち職員対応）	参加者数	市民グループ	事業所
26	20回（11回）	875名（女性:622 男性:253）	11件	9件
25	27回（10回）	969名（女性:743 男性:226）	20件	7件

(2) 男女共同参画推進セミナー

男女共同参画についての基本的な知識を有し、家庭、地域、職場等さまざまな活動の場で、男女共同参画推進の視点をもって行動できる人材を養成するための人材養成講座、及び県外講師を招いての公開講座を開催した。

○「地域リーダー養成講座～あなたの方でまつやまを元気に～」（連続4回シリーズ）

- ・開催日：平成26年7月2日（水）～23日（水）
午後コース：13:30～15:00
夜間コース：18:30～20:00

○コムズ白熱教室2014

- 「生活のリア充^{じゆう}を目指して～今、新たな一步をふみだそう～」（連続4回シリーズ）
- ・開催日：平成26年11月7日（金）～12月5日（金）18:00～19:30
- ・対象：松山市内に在住・通学の学生、及び20歳代の男女

○公開講座

- ・テーマ：「人生100年時代への船出 ～無縁社会から有援社会へ～」
- ・開催日：平成26年8月30日（土）10:00～11:30
- ・講師：樋口 恵子（NPO 法人高齢社会をよくする女性の会 理事長）

参加状況

	延べ受講者数	女性参加者	男性参加者	25年度延べ
地域リーダー養成講座（午後）全4回 （夜間）全4回	80名	70名	10名	58名
	77名	47名	30名	42名
コムズ白熱教室2014 全4回	66名	33名	33名	84名（5回）
公開講座	250名	225名	25名	112名

(3) 男女共同参画関連講座

幅広い層に関心をもってもらえるようシニア世代、女性、男性、親子、市民団体等、多様な対象を設定し、男女共同参画の視点を盛り込んだ多彩なテーマで連続講座と単発講座を開催した。

- 「シニアライフ充実講座」（連続4回シリーズ）
 - ・開催日：平成26年5月9日（金）～5月30日（金）13：30～15：00
- 「ママとサイエンス」
 - ・開催日：平成26年8月23日（土）10：00～11：30
- 「コムズ仕事塾 明日のトビラをひらけ！」（連続2回シリーズ）
 - ・開催日：平成26年9月13日（土）・9月20日（土）13：00～15：00
- 「働く女性のための“ワタシ”プロデュース講座」（連続4回シリーズ）
 - ・開催日：平成26年10月4日（土）～11月8日（土）14：00～15：30
- 「笑顔講座 ～こころにゆとりを！笑って健康～」 *県市共同開催事業*
 - ・開催日：平成26年12月14日（日）13：30～16：00
- 「市民活動応援講座 ～企画力アップ！・マネジメント力アップ！～」
 - ・開催日：平成27年3月14日（土）13：00～15：00
- 「男性講座 ～まだまだこれから～」（連続3回シリーズ）
 - ・開催日：平成27年2月28日（土）～3月21日（土）13：30～15：00

男女共同参画関連講座 参加状況

	延べ受講者数	女性参加者	男性参加者	25年度延べ
シニアライフ充実講座（4回）	187名	149名	38名	243名
ママとサイエンス	25組	—	—	26組
コムズ仕事塾 明日のトビラをひらけ！（2回）	60名	40名	20名	—
働く女性のための“ワタシ”プロデュース講座（4回）	80名	80名	—	—
笑顔講座～こころにゆとりを！笑って健康～	28名	14名	14名	—
市民活動応援講座 ～企画力アップ・マネジメント力アップ！～	10名	6名	4名	—
男性講座 ～まだまだこれから～	28名	—	28名	—

(4) コムズフェスティバル

「つながろう つなげよう 男女共同参画の輪」を総合テーマに、まつやま国際交流センター（松山国際交流協会）、新玉児童館（松山市社会福祉事業団）並びにまつやまNPOサポートセンターと共催し基調講演や市民企画分科会、物販パネル展示など多彩なイベントを実施した。

- ・開催日：平成27年1月31日（土） 10:00～20:30
2月1日（日） 10:00～16:00

○基調講演

- ・テーマ：「働くことは生きること～逆境が私を育ててくれた～」
- ・講師：中園 ミホ（脚本家）
- ・参加者：300名（女性：225名・男性：75名）

○市民企画分科会等

	企画運営団体および企画名	会員	参加者	女性	男性
女性の活躍促進	【NPO 法人日本交流分析協会松山会】 親が育む子どもの育つ力、子どもが見つかる親への愛情	6	19	19	0
	【議会に女性をおくる会】 誰でも・どこでも・政治のはなし	46	30	22	8
教育・子育て	【NPO 松山冒険遊び場】 遊ぶ子どもに福来る	6	9	6	3
	【NPO 法人ワークライフ・コラボ】 わたしたちでつくる、放課後のカタチ	11	29	25	4
	【NPO 法人四国青年 NGO HOPE】 探そう、気付こう、語り合おう。今日は真剣（マジ）な1日！	5	16	9	7
暮らし・生き方	【ウエルエイジングクラブまつやま】 支え合って地域で生きる	18	42	38	4
	【レインボープライド愛媛×愛媛県女性保護対策協議会】 一人ひとりが声を上げよう！	20	195	100	95
	【サ行の会】お手軽 女子ごはん 男子ごはん	8	12	9	3
仕事・労働	【キャリアプロデュース研究所】 NO! 離職	5	18	4	14
	【特定非営利活動法人愛媛キャリアコンサルタント協会】 自分を生かすモチベーションコントロール	41	25	17	8
地域	【男女共同さんかくの会女性と防災グループ】 トイレは命をつなぐもの	4	36	18	18
	【まつやま子規の庭プロジェクト】 花と緑と人の輪で夢をカタチに	10	33	30	3
	【合同分科会実行委員会】 ぶっちゃけトーク 2014	6	36	24	12
	【まつやま国際交流センター】「太極拳を通して、東洋が見える!？」	—	31	25	6

【松山市新玉児童館】「愛・媛たま劇場」「M・A・Jランド」	—	191	107	84
【まつやま NPO サポートセンター】 「スマートな女になろう。」	—	10	10	0
合 計	—	732	女性：463 男性：269	

○親子向けイベント

- ・内 容：親子で楽しむアニメ上映会
小学生のための体験教室（煎茶・寄せ植え・理科実験）
- ・参加者数：200名

4 男女の自立を促進するための相談

家庭・職場・地域において、人々が抱える問題、家族・人間関係の悩みなどを総合的に受け止め、各種相談窓口や関係機関との連携協力を図り、相談者自身が解決の糸口を見出し、自立と主体的な生き方をめざすための相談を行った。

(1) 女性問題等に関する電話及び面接相談事業

- ・実施日：火・水・金・土曜日／10:00～20:00
日曜・祝日／10:00～16:00

・相談件数状況

年度	電話相談	(うちDV)	面接相談	(うちDV)
26	1,008件	68件	266件	34件
25	1,571件	32件	365件	38件
前年比	64.2%	212.5%	72.9%	89.5%

- ・主訴分類：「夫婦関係の悩み」「出生家族の悩み」「こころ」「人間関係の悩み」

(2) 学習会・座談会事業

相談室に寄せられる相談内容を集約し、より多くの人に情報提供し、市民により良い自立した生き方を提案できるような学習会を実施した。

○「DV防止法とストーカー規制法について知ろう」

- 講師：愛媛県警察本部ストーカー対策室 室長 木原 昭彦
- ・開催時期：平成26年11月15日（土）
- ・参加者：34名

○「こころとからだの健康講座」 講師：医療法人 眞理神経クリニック 院長 越智 眞理

- ・開催時期：平成26年9月27日（土）
- ・参加者：女性 73名

(3) 男性相談

家庭、職場、地域において男性が抱える家族、人間関係、生き方にまつわる悩みを男性相談専門家が対応し、その人にふさわしい解決を見出す相談を行った。

- ・開催時期：毎月第2水曜日・第4土曜日 18:30～20:30
- ・内 容：心理相談員（男性）による電話及び面接相談
- ・相談件数：55件

(4) 相談員研修 (スーパーバイズ)

外部の講師を招いて相談事例の検討及び相談員の資質の向上をめざした。

- ・開催時期：平成26年7月3日(木)、平成26年12月18日(木)、平成27年2月26日(木)
(全3回) 13:30~15:30

・講師：県センター元相談員、石光真理弁護士、松山市介護保険課職員

5 男女共同参画推進のための地域性を反映した調査研究

男女共同参画社会づくりの形成に向けて、多様化する市民の意識や実態を施策や事業プログラムの開発に反映させていくため、総合的かつ実践的な調査研究を行った。

- ・内容：平成25・26年度の2カ年をかけ、男女間のパートナーシップに関する実態調査を行い、過去に実施した同様調査や国の調査と比較分析し、報告書概要版を作成した。
- ・報告書：200部
- ・概要版：2,000部

6 まつやまファミリー・サポート・センター運営事業

育児の援助、高齢者等に対する軽易な介護等の援助を行いたい人と、当該援助を受けたい人からなる会員組織である「まつやまファミリー・サポート・センター」の業務運営を行った。

○育児の部

年度	依頼会員数	提供会員数	両方会員	会員合計	活動状況
26	1,520名	752名	32名	2,304名	8,334件
25	1,378名	797名	30名	2,205名	10,268件
増減数	+142名	-45名	+2名	+99名	-1,934件
前年比	110.3%	94.4%	106.7%	104.5%	81.2%

○介護の部

年度	依頼会員数	提供会員数	両方会員	会員合計	活動状況
26	285名	706名	4名	995名	7,163件
25	642名	724名	4名	1,370名	7,556件
増減数	-357名	-18名	0名	-375名	-393件
前年比	44.4%	97.5%	100.0%	72.6%	94.8%

- ・説明会、初級講習会(1回につき7日間) : 年2回
 - ・応急手当講習会 : 2回
 - ・レベルアップ講習会 : 5回
 - ・会員募集広告 : 5回
 - ・はーと通信発行 : 2回

・まつやまファミリー・サポート・センター事業利用助成金

まつやまファミリー・サポート・センター事業を利用したものに対し助成金を交付し、利用者の負担を軽減するとともにまつやまファミリー・サポート・センター事業の普及を図り、地域においての育児に関する相互援助活動を推進した。

助成を受けた利用世帯数及び助成した金額等	全体	うち児童扶養手当受給者
実世帯数（延べ）	853世帯	132世帯
活動件数	6,793件	1,711件
助成額	1,618,950円	420,400円

7 松山市男女共同参画推進センター管理運営事業

松山市から指定を受け、松山市男女共同参画推進センター「コムズ」の効果的な管理運営を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館日数	26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	308
使用可能回数	73	74	70	76	76	69	76	71	67	69	67	72	860

○回数使用率 1日を午前・午後・夜間に分けた使用回数を可能回数で除いた使用率 (単位:%)

会議室名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均使用率	25年度使用率
会議室1-1	61.6	58.1	57.1	52.6	42.1	59.4	50.0	62.0	49.3	58.0	59.7	50.0	55.0	58.3
会議室2	19.2	37.8	44.3	42.1	27.6	36.2	51.3	50.7	37.3	33.3	38.8	40.3	38.3	40.7
会議室3	45.2	43.2	48.6	48.7	39.5	52.2	59.2	66.2	50.8	60.9	56.7	56.9	52.3	53.3
会議室4	56.2	56.8	71.4	65.8	47.4	53.6	63.2	66.2	58.2	66.7	71.6	62.5	61.6	62.8
会議室5	30.1	33.8	27.1	59.2	38.2	37.7	32.9	49.3	26.9	39.1	59.7	41.7	39.6	36.1
大会議室	20.6	36.5	35.7	47.4	40.8	23.2	34.2	42.3	19.4	39.1	40.3	38.9	34.9	31.8
視聴覚室A	20.6	36.5	47.1	50.0	39.5	43.5	35.5	49.3	25.4	39.1	44.8	31.9	38.6	37.0
視聴覚室B	27.4	36.5	52.9	48.7	32.9	39.1	38.2	53.5	41.8	50.7	56.7	37.5	43.0	38.7
多目的室	31.5	44.6	47.1	39.5	30.3	36.2	32.9	35.2	31.3	37.7	40.3	36.1	36.9	39.3
和室	30.1	35.1	31.4	38.2	22.4	37.7	43.4	40.9	38.8	47.8	44.8	45.8	38.0	38.4
創作室	26.0	39.2	34.3	39.5	32.9	34.8	30.3	32.4	31.3	44.9	44.8	36.1	35.5	34.6
調理室	17.8	21.6	18.6	18.4	34.2	15.9	18.4	42.3	37.3	36.2	64.2	27.8	29.4	27.3
男女共同参画推進財団 管理部分 稼働率	34.2	36.6	43.8	47.8	36.9	44.0	38.5	44.7	39.8	40.9	46.0	44.9	41.5	41.5

会議室1-2 (NPOサボ-トセンター専用)	57.5	48.7	61.4	50.0	34.2	55.1	52.6	50.7	47.8	53.6	64.2	47.2	51.9	52.5
国際交流会議室 (国際交流協会専用)	21.9	31.1	42.9	34.2	13.2	14.5	25.0	32.4	52.2	52.2	31.3	0.0	29.2	28.9
コムズ全館 稼働率	35.5	37.9	44.0	47.8	36.6	41.4	38.4	43.9	41.4	41.3	45.5	43.1	41.4	41.4

○日数使用率 使用日数を開館日数で除した使用率

(単位: %)

会議室名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均 使用率
会議室1-1	88.5	77.8	84.0	81.5	74.1	88.0	77.8	80.8	83.3	83.3	91.7	80.8	82.6
会議室2	46.2	59.3	76.0	63.0	51.9	72.0	81.5	76.9	70.8	58.3	62.5	65.4	65.3
会議室3	84.6	70.4	84.0	81.5	74.1	76.0	88.9	92.3	83.3	91.7	91.7	88.5	83.9
会議室4	80.8	77.8	88.0	100.0	74.1	80.0	88.9	92.3	83.3	87.5	100.0	92.3	87.1
会議室5	53.8	55.6	56.0	70.4	63.0	56.0	44.4	80.8	50.0	54.2	83.3	61.5	60.7
大会議室	34.6	59.3	64.0	70.4	55.6	44.0	55.6	65.4	33.3	54.2	58.3	61.5	54.7
視聴覚室A	50.0	70.4	84.0	74.1	63.0	64.0	63.0	76.9	54.2	58.3	79.2	61.5	66.5
視聴覚室B	57.7	63.0	88.0	77.8	48.1	64.0	70.4	80.8	66.7	83.3	91.7	80.8	72.7
多目的室	69.2	77.8	84.0	74.1	63.0	80.0	74.1	76.9	66.7	70.8	83.3	84.6	75.4
和室	57.7	55.6	60.0	70.4	40.7	68.0	77.8	73.1	62.5	70.8	75.0	76.9	65.7
創作室	46.2	66.7	68.0	74.1	59.3	52.0	51.9	61.5	50.0	75.0	83.3	57.7	62.1
調理室	30.8	40.7	44.0	33.3	59.3	36.0	40.7	65.4	54.2	54.2	62.5	46.2	47.3
男女共同参画推進財団 管理部分 稼働率	58.3	64.5	73.3	72.5	60.5	65.0	67.9	76.9	63.2	70.1	80.2	71.5	68.7

25年度 使用率	83.7
	69.3
	85.0
	88.6
	59.3
	50.0
	67.1
	67.4
	76.8
	64.7
	60.6
	46.0
	68.2

会議室1-2 (NPOサロ-トセンター専用)	96.2	81.5	88.0	85.2	70.4	96.0	92.6	92.3	83.3	87.5	95.8	84.6	87.8
国際交流会議室 (国際交流協会専用)	38.5	51.9	72.0	55.6	25.9	36.0	48.1	65.4	87.5	70.8	54.2	38.5	53.7
コムズ全館 稼働率	59.6	64.8	74.3	72.2	58.7	65.1	68.3	77.2	66.4	71.4	79.5	70.1	69.0

83.6
51.6
68.1

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
会議室使用料	759,270	1,216,650	1,173,360	1,620,390	1,236,190	1,012,600	1,202,110	1,242,990	948,340	789,930	1,397,390	1,227,330	13,826,550
会議室利用人数 (1-2・国際交流会議室除く)	5,293	8,029	8,489	10,156	7,622	6,431	7,617	8,912	5,817	7,069	8,251	7,669	91,355
会議室利用人数 (全館)	5,916	8,729	9,446	10,879	8,006	6,922	8,273	9,679	6,588	8,029	8,983	8,143	99,593
自習スペース利用人数	248	254	192	261	229	319	501	206	222	218	182	116	2,948

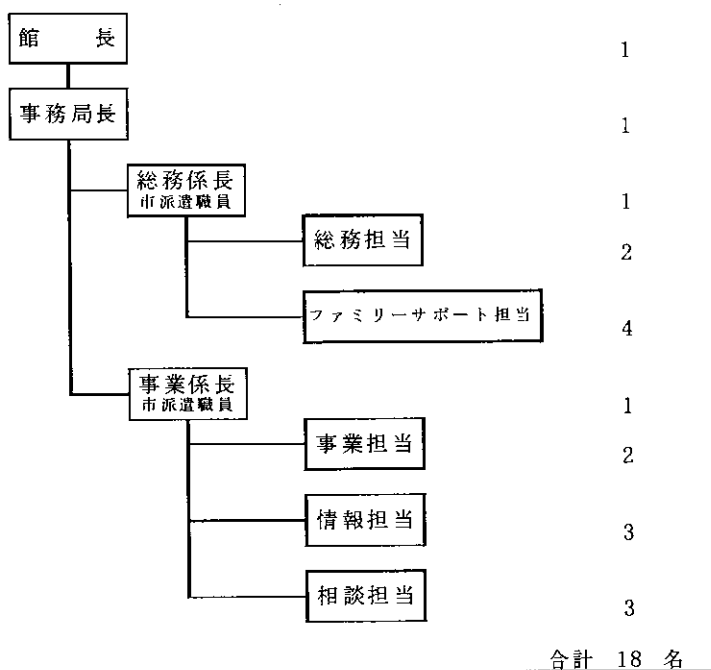
25年度 計	13,644,450
	87,366
	95,149
	3,008

※以降は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の事業報告の内容を補足する重要な事項

8 公益財団法人 松山市男女共同参画推進財団 職員の状況

(1) 平成26年度の職員は次のとおりである。

(平成27年3月31日)



9 公益財団法人 松山市男女共同参画推進財団 運営推進委員会の状況

市民に開かれたセンターとして、幅広く市民の意見及び提言を事業運営に反映するとともに、センターの機能を十分に活用した効率的な事業運営を図るため、有識者や公募の市民から構成する運営推進委員会を開催した。

(1) 平成26年度の運営推進委員は次のとおりである。

・委員数：9名（うち市民公募委員1名）

(平成27年 3月31日)

役職名	氏名	現役職名
委員長	本田美紀	有限会社オルソ本田 取締役
副委員長	鷺澤光夫	一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会 事務局長
委員	江戸康敏	レインボープライド愛媛代表
委員	熊野伸二	公益社団法人松山市シルバー人材センター 副理事長
委員	土居貴美	松山市味酒公民館 館長
委員	中村和憲	公募委員
委員	西岡千佳子	フロンティア北条
委員	堀田真奈	NPO 法人ワークライフ・コラボ 代表
委員	横山ぬい	株式会社エス・ピー・シー 常務取締役

(2) 運営推進委員会の開催状況

回	開催年月日	開催場所	付議事項
1	平成26年 6月7日 (土) 10:00~11:30	コムズ3階 会議室2	1. 平成26年度事業計画概要及び進捗報告について 2. 開催スケジュール・内容について
2	平成26年 9月27日 (土) 10:00~11:30	コムズ3階 会議室2	1. 平成26年度「コムズフェスティバル・シネマ&トーク・コムズde遊ぼう」について
3	平成27年 3月7日 (土) 10:00~11:30	コムズ3階 会議室2	1. 平成26年度「コムズフェスティバル・シネマ&トーク・コムズde遊ぼう」について (報告)

※開催場所は、松山市男女共同参画推進センター「コムズ」

10 公益財団法人 松山市男女共同参画推進財団 理事会の状況

(1) 平成26年度の役員は次のとおりである。

・役員数：8名（内訳）理事長：1名 副理事長：1名 常務理事：1名
理事：3名 監事：2名

（平成27年3月31日）

役職名	氏名	現役職名
理事長	鎌田 サチ子	松山市男女共同参画推進センター館長
副理事長	桐木 陽子	松山東雲短期大学教授
常務理事	福本 正行	(公財)松山市男女共同参画推進財団事務局長
理事	竹政 秀俊	松山商工会議所 事務局長・中小企業相談所長兼 総合企画部長
理事	廣瀬 一郎	廣瀬総合コンサルタント事務所 所長
理事	堀川 ふぢこ	株式会社オフィスキュー代表取締役
監事	武智 弘泰	新日本有限責任監査法人 公認会計士
監事	村上 正明	愛媛銀行 空港通支店 支店長

(2) 理事会の開催状況

回	開催年月日	開催場所	付議事項
1	平成26年4月1日(火) (決議省略)	—	1. 常務理事の選定について
2	平成26年5月20日(火) 10:00~10:50	コムズ3階 会議室2	1. 平成25年度 事業報告及び収支決算の 承認について 2. 定時評議員会の招集について 3. 事業執行の状況について
3	平成26年7月29日(火) (決議省略)	—	1. 評議員の選任について
4	平成27年3月19日(木) 10:00~11:00	コムズ3階 会議室2	1. 平成27年度 事業計画及び収支予算の 承認について 2. 平成27年度 資金調達及び設備投資の 見込み

※開催場所は、松山市男女共同参画推進センター「コムズ」

1.1 公益財団法人 松山市男女共同参画推進財団 評議員会の状況

(1) 平成26年度の評議員は次のとおりである。

・評議員数：6名

(平成27年3月31日)

役職名	氏名	現役職名
評議員	石光真理	弁護士
評議員	大内由美	えひめ若年人材育成推進機構常務理事
評議員	西泉彰雄	松山市副市長
評議員	乗松紀美子	社会福祉法人福角会福角保育園長
評議員	前田眞	国立大学法人愛媛大学社会連携推進機構教授
評議員	宮内隆	㈱愛媛CATV代表取締役社長

(五十音順)

(2) 評議員会の開催状況

回	開催年月日	開催場所	付議事項
1	平成26年4月1日(火) (決議省略)	—	1. 理事の選任について
2	平成26年6月4日(水) 13:30~14:20	コムズ3階 会議室2	1. 平成25年度 事業報告及び収支決算の承認について
3	平成26年8月1日(金) (決議省略)	—	1. 評議員の選任について

※開催場所は、松山市男女共同参画推進センター「コムズ」。

貸 借 対 照 表

平成27年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	昨年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金 (伊予銀行松山市役所支店)	9,709,456	7,707,001	2,002,455
普通預金 (伊予銀行松山市役所支店)	202,330	85,760	116,570
現 金	50,000	50,000	0
未 収 金	335,378	182,654	152,724
流 動 資 産 合 計	10,297,164	8,025,415	2,271,749
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	49,949,480	22,528	49,926,952
投資有価証券 (国債)	450,050,520	499,977,472	△ 49,926,952
基 本 財 産 合 計	500,000,000	500,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	11,348,371	8,534,238	2,814,133
特 定 資 産 合 計	11,348,371	8,534,238	2,814,133
固 定 資 産 合 計	511,348,371	508,534,238	2,814,133
資 産 合 計	521,645,535	516,559,653	5,085,882
II 負債の部			
1 流動負債			
未 払 金	3,785,449	3,337,524	447,925
仮 受 金 (指定管理料)	5,810,200	4,552,131	1,258,069
仮 受 金 (委託料)	449,185	0	449,185
仮 受 金 (会議室使用料)	202,330	85,760	116,570
賞与引当金	2,700,000	2,828,000	△ 128,000
流 動 負 債 合 計	12,947,164	10,803,415	2,143,749
2 固定負債			
退 職 給 付 引 当 金	14,018,200	12,454,560	1,563,640
固 定 負 債 合 計	14,018,200	12,454,560	1,563,640
負 債 合 計	26,965,364	23,257,975	3,707,389
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
(うち基本財産への充当額)	500,000,000	500,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
指 定 正 味 財 産 合 計	500,000,000	500,000,000	0
2 一般正味財産	△ 5,319,829	△ 6,698,322	1,378,493
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正 味 財 産 合 計	494,680,171	493,301,678	1,378,493
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	521,645,535	516,559,653	5,085,882

正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,745,980	2,100,879	△ 354,899	
基本財産受取利息	1,745,980	2,100,879	△ 354,899	
特定資産運用益	2,133	1,438	695	
特定資産受取利息	2,133	1,438	695	
賞与引当金戻入益	2,828,000	2,768,000	60,000	
賞与引当金戻入益	2,828,000	2,768,000	60,000	
事業収益	98,500,615	97,624,869	875,746	
指定管理料収益	85,550,350	97,624,869	△ 12,074,519	
受託事業収益	12,950,265	0	12,950,265	
受取補助金等	1,670,790	0	1,670,790	
市補助金	1,670,790	0	1,670,790	
雑収益	1,006,586	1,036,314	△ 29,728	
受取利息	5,064	4,266	798	
雑収益	1,001,522	1,032,048	△ 30,526	
経常収益計	105,754,104	103,531,500	2,222,604	
(2) 経常費用				
事業費	97,333,664	95,377,910	1,955,754	
給料手当	44,233,812	44,064,524	169,288	
退職給付費用	1,454,185	1,463,662	△ 9,477	
賞与引当繰入額	2,511,000	2,630,040	△ 119,040	
福利厚生費	9,661,360	9,143,259	518,101	
旅費交通費	293,016	384,578	△ 91,562	
通信運搬費	1,188,470	1,572,233	△ 383,763	
食糧費	18,474	18,400	74	
広告料	525,720	719,450	△ 193,730	
賄材料費	39,577	40,643	△ 1,066	
消耗品費	2,264,560	1,888,744	375,816	
修繕費	1,840,417	620,052	1,220,365	
印刷製本費	2,695,525	2,571,606	123,919	
燃料費	25,943	36,551	△ 10,608	
光熱水費	7,036,506	8,730,834	△ 1,694,328	
賃借料	2,617,679	2,077,649	540,030	
保険料	1,035,450	562,870	472,580	
諸謝金	3,076,800	3,010,750	66,050	
租税公課	2,939,637	2,771,307	168,330	
手数料	0	1,411	△ 1,411	
支払負担金	300,000	300,000	0	
支払助成金	1,838,950	313,000	1,525,950	
委託料	11,736,583	12,456,347	△ 719,764	

管理費	7,041,947	6,973,982	67,965
役員報酬	116,200	124,500	△ 8,300
給料手当	3,329,427	3,316,684	12,743
退職給付費用	109,455	110,168	△ 713
賞与引当繰入額	189,000	197,960	△ 8,960
福利厚生費	727,199	688,203	38,996
旅費交通費	14,134	13,362	772
通信運搬費	30,454	54,023	△ 23,569
消耗品費	68,610	53,731	14,879
修繕費	138,526	46,671	91,855
印刷製本費	8,585	8,081	504
燃料費	1,953	2,751	△ 798
光熱水費	529,629	657,159	△ 127,530
賃借料	197,030	156,382	40,648
保険料	101,640	103,460	△ 1,820
諸謝金	207,500	199,200	8,300
租税公課	221,263	208,593	12,670
手数料	2,052	1,890	162
支払負担金	257,890	196,204	61,686
委託料	791,400	834,960	△ 43,560
経常費用計	104,375,611	102,351,892	2,023,719
評価損益等調整前当期経常増減額	1,378,493	1,179,608	198,885
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
当期経常増減額	1,378,493	1,179,608	198,885
2. 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,378,493	1,179,608	198,885
一般正味財産期首残高	△ 6,698,322	△ 7,877,930	1,179,608
一般正味財産期末残高	△ 5,319,829	△ 6,698,322	1,378,493
II. 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産期末残高	500,000,000	500,000,000	0
III. 正味財産期末残高	494,680,171	493,301,678	1,378,493

正味財産増減計算書(内訳表)
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業	収益事業等	法人会計	内部取引 控 除	合 計
	会 計	会 計			
	男女共同参画推進事業	会議室等賃貸事業			
I. 一般正味財産増減の部					
I. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	1,745,980	0	0	0	1,745,980
基本財産受取利息	1,745,980	0	0	0	1,745,980
特定資産運用益	2,133	0	0	0	2,133
特定資産受取利息	2,133	0	0	0	2,133
賞与引当金戻入益	2,432,080	197,960	197,960	0	2,828,000
賞与引当金戻入益	2,432,080	197,960	197,960	0	2,828,000
事業収益	86,523,566	5,988,525	5,988,524	0	98,500,615
指定管理料収益	73,573,301	5,988,525	5,988,524	0	85,550,350
受託事業収益	12,950,265	0	0	0	12,950,265
受取補助金等	1,670,790	0	0	0	1,670,790
市補助金	1,670,790	0	0	0	1,670,790
雑収益	865,664	70,460	70,462	0	1,006,586
受取利息	4,355	354	355	0	5,064
雑収益	861,309	70,106	70,107	0	1,001,522
経常収益計	93,240,213	6,256,945	6,256,946	0	105,754,104
(2) 経常費用					
事業費	88,579,802	8,753,862	0	0	97,333,664
給料手当	40,904,385	3,329,427	0	0	44,233,812
退職給付費用	1,344,730	109,455	0	0	1,454,185
賞与引当繰入額	2,322,000	189,000	0	0	2,511,000
福利厚生費	8,934,161	727,199	0	0	9,661,360
旅費交通費	278,882	14,134	0	0	293,016
通信運搬費	1,134,376	54,094	0	0	1,188,470
食糧費	18,474	0	0	0	18,474
広告料	525,720	0	0	0	525,720
賄材料費	39,577	0	0	0	39,577
消耗品費	1,638,267	626,293	0	0	2,264,560
修繕費	1,701,891	138,526	0	0	1,840,417
印刷製本費	2,686,940	8,585	0	0	2,695,525
燃料費	23,990	1,953	0	0	25,943
光熱水費	4,691,004	2,345,502	0	0	7,036,506
賃借料	2,420,649	197,030	0	0	2,617,679
保険料	1,035,450	0	0	0	1,035,450
諸謝金	3,076,800	0	0	0	3,076,800
租税公課	2,718,374	221,263	0	0	2,939,637
手数料	0	0	0	0	0
支払負担金	300,000	0	0	0	300,000
支払助成金	1,838,950	0	0	0	1,838,950
委託料	10,945,182	791,401	0	0	11,736,583

管理費	0	0	7,041,947	0	7,041,947
役員報酬	0	0	116,200		116,200
給料手当	0	0	3,329,427		3,329,427
退職給付費用	0	0	109,455		109,455
賞与引当繰入額	0	0	189,000		189,000
福利厚生費	0	0	727,199		727,199
旅費交通費	0	0	14,134		14,134
通信運搬費	0	0	30,454		30,454
消耗品費	0	0	68,610		68,610
修繕費	0	0	138,526		138,526
印刷製本費	0	0	8,585		8,585
燃料費	0	0	1,953		1,953
光熱水費	0	0	529,629		529,629
賃借料	0	0	197,030		197,030
保険料	0	0	101,640		101,640
諸謝金	0	0	207,500		207,500
租税公課	0	0	221,263		221,263
手数料	0	0	2,052		2,052
支払負担金	0	0	257,890		257,890
委託料	0	0	791,400		791,400
経常費用計	88,579,802	8,753,862	7,041,947	0	104,375,611
評価損益等調整前当期経常増減額	4,660,411	△ 2,496,917	△ 785,001	0	1,378,493
基本財産評価損益等	0	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0		0
当期経常増減額	4,660,411	△ 2,496,917	△ 785,001	0	1,378,493
2. 経常外増減の部					
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	4,660,411	△ 2,496,917	△ 785,001	0	1,378,493
一般正味財産期首残高	△ 3,837,730	△ 2,435,197	△ 425,395		△ 6,698,322
一般正味財産期末残高	822,681	△ 4,932,114	△ 1,210,396	0	△ 5,319,829
II. 指定正味財産増減の部					
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	0	0	0	500,000,000
指定正味財産期末残高	500,000,000	0	0	0	500,000,000
III. 正味財産期末残高	500,822,681	△ 4,932,114	△ 1,210,396	0	494,680,171

財 産 目 録

平成27年3月31日

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	釣銭準備金	50,000
預金	普通預金		9,911,786
	伊予銀行 松山市役所支店	一般管理口座	9,709,456
	伊予銀行 松山市役所支店	預り金口座	202,330
未収金		3月分光熱水費のうち国際交流センター・新玉児童館負担分の預り金 他	335,378
流動資産合計			10,297,164
(固定資産)			
基本財産			500,000,000
定期預金			49,949,480
	伊予銀行松山市役所支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益事業財源として使用している。	49,949,480
投資有価証券			450,050,520
	利付国債 第93回 伊予銀行松山市役所支店		50,063,013
	利付国債 第93回 愛媛銀行松山市役所支店		50,063,013
	利付国債 第102回 伊予銀行松山市役所支店		50,237,940
	利付国債 第102回 愛媛銀行松山市役所支店		50,237,940
	利付国債 第107回 伊予銀行松山市役所支店		49,692,256
	利付国債 第107回 愛媛銀行松山市役所支店		49,692,256
	利付国債 第116回 愛媛銀行松山市役所支店		50,078,028
	利付国債 第332回 伊予銀行松山市役所支店		50,058,500
	利付国債 第337回 愛媛銀行松山市役所支店		49,927,574
特定資産			
退職給付引当資産	定期預金	職員の退職金の支払の財源として積み立てている。	11,348,371
	伊予銀行 松山市役所支店		
固定資産合計			511,348,371
資産合計			521,645,535
(流動負債)			
未払金		公益目的事業に供する光熱水費他	3,785,449
仮受金		松山市に返納すべき指定管理料	5,810,200
		松山市に返納すべき委託料	449,185
		松山市に納付すべき館使用料	202,330
賞与引当金		職員17名の賞与支払いに備えたもの	2,700,000
流動負債合計			12,947,164
(固定負債)			
退職給付引当金	職員に係るもの	職員3名に対する退職金の支払に備えたもの	14,018,200
固定負債合計			14,018,200
負債合計			26,965,364
正味財産			494,680,171

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	12,454,560	1,563,640	0	0	14,018,200
賞与引当金	2,828,000	2,700,000	2,828,000	0	2,700,000

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
償却原価法（定額法）を採用している。

(2) 消費税の会計処理について
消費税の会計処理は、税込方式を採用している。

(3) 引当金の計上基準について

退職給付引当金

期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

賞与引当金

次年度6月支給予定の賞与の対象期間中、当年度帰属分（4/6ヶ月）分を計上している。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	22,528	49,949,480	22,528	49,949,480
投資有価証券	499,977,472	81,658	50,008,610	450,050,520
小計	500,000,000	50,031,138	50,031,138	500,000,000
特定資産				
退職給付引当資産				
定期預金	8,534,238	2,814,133	0	11,348,371
小計	8,534,238	2,814,133	0	11,348,371
合計	508,534,238	52,845,271	50,031,138	511,348,371

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産からの 充当額）	（うち一般正味財 産からの充当額）	（うち負債に 対応する額）
基本財産				
定期預金	49,949,480	(49,949,480)	(0)	-
利付国債	450,050,520	(450,050,520)	(0)	-
小計	500,000,000	(500,000,000)	(0)	
特定資産				
退職給付引当資産				
定期預金	11,348,371	(0)	(0)	(11,348,371)
小計	11,348,371	(0)	(0)	(11,348,371)
合計	511,348,371	(500,000,000)	(0)	(11,348,371)

4. 担保に供している資産

該当なし

5. 固定資産の取得及び減価償却

該当なし

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

7. 保証債務

該当なし

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価格	時価	評価損益
基本財産			
利付国債5年 第93回 伊予銀行	50,063,013	50,225,175	162,162
利付国債5年 第93回 愛媛銀行	50,063,013	50,225,175	162,162
利付国債5年 第102回 伊予銀行	50,237,940	50,481,150	243,210
利付国債5年 第102回 愛媛銀行	50,237,940	50,481,150	243,210
利付国債5年 第107回 伊予銀行	49,692,256	49,808,320	116,064
利付国債5年 第107回 愛媛銀行	49,692,256	49,808,320	116,064
利付国債5年 第116回 愛媛銀行	50,078,028	50,290,240	212,212
利付国債10年 第332回 伊予銀行	50,058,500	51,360,000	1,301,500
利付国債10年 第337回 愛媛銀行	49,927,574	49,635,645	△ 291,929
			0
合計	450,050,520	452,315,175	2,264,655

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高
松山市子育て支援 事業費補助金	松山市	0	1,670,790	1,670,790	0

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

11. 関連当事者との取引内容

該当なし

12. 重要な後発事象

該当なし

収支計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

1. 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

大	科 目		当初予算額	補正額	予備費支出 及び流用増減	予算現額 (a)	決算額 (b)	差異 (a-b)	備 考
	中	小							
基本財産運用収入			1,700,000	0		1,700,000	1,745,980	△ 45,980	
		基本財産利息収入	1,700,000	0		1,700,000	1,745,980	△ 45,980	
		基本財産利息収入	1,700,000	0		1,700,000	1,745,980	△ 45,980	基本財産5億円の引当及び定期預金運用利息
		特定資産運用収入	2,000	0		2,000	2,133	△ 133	
特定資産利息収入		特定資産利息収入	2,000	0		2,000	2,133	△ 133	
		特定資産利息収入	2,000	0		2,000	2,133	△ 133	
		特定資産利息収入	2,000	0		2,000	2,133	△ 133	
事業収入			104,760,000	0		104,760,000	98,500,615	6,259,385	
		指定管理料収入	91,361,000	0		91,361,000	85,550,800	5,810,200	
		男女共同参画推進 運営管理料収入	61,196,000	0		61,196,000	55,385,800	5,810,200	
		男女共同参画推進 事業管理料収入	7,687,000	0		7,687,000	7,687,000	0	
		男女共同参画推進 施設管理料収入	22,478,000	0		22,478,000	22,478,000	0	
		委託事業収入	13,399,000			13,399,000	12,949,815	449,185	
		ファミリー・サポート事業 受託収入(育児)	7,153,000	0		7,153,000	6,860,601	292,399	
		ファミリー・サポート事業 受託収入(介護)	6,246,000	0		6,246,000	6,089,214	156,786	
		補助金収入	2,859,000	△ 1,188,210		1,670,790	1,670,790	0	
		市補助金収入	2,859,000	△ 1,188,210		1,670,790	1,670,790	0	
雑収入		市補助金収入	2,859,000	△ 1,188,210		1,670,790	1,670,790	0	
		雑収入	987,000	0		987,000	1,006,586	△ 19,586	
雑収入		雑収入	987,000	0		987,000	1,006,586	△ 19,586	
		受取利息収入	7,000	0		7,000	5,064	1,936	普通預金利息
雑収入		雑収入	980,000	0		980,000	1,001,522	△ 21,522	パソコン、印刷成利用代金外
		事業活動収入計	110,308,000	△ 1,188,210		109,119,790	102,926,104	6,193,686	

(単位：円)

(単位：円)

2. 事業活動支出

大	科		目	当初予算額	補正額	予備費支出 及び流用増減	予算現額 (a)	決算額 (b)	差異 (a-b)	備考		
	中	小										
管理費	総務管理費		報酬	81,139,000	0	△ 2,133	81,136,867	77,438,480	3,698,387			
			給料	58,661,000	0	△ 2,133	58,658,867	56,011,869	2,646,998			
			職員手当等	22,749,000	0		22,749,000	22,317,712	431,288		0	市長・事務局長・嘱託職員、役員報酬
			福利厚生費	10,617,000	0	111,600	10,728,600	10,728,600	0		0	プロパー職員3名分
			報償費	8,898,000	0	△ 577,002	8,320,998	6,285,363	2,035,635			市派遣職員・プロパー職員手当等
			旅費交通費	9,087,000	0	0	9,087,000	9,048,858	38,342			社会保険料事業主負担分、共済会負担金等
			消耗品費	226,000	0	0	226,000	207,500	18,500			
			燃料費	246,000	0	0	246,000	201,920	44,080			
			印刷製本費	898,000	0	82,143	980,143	980,143	0			コピー機利用代金外
			修繕費	43,000	0	0	43,000	27,896	15,104			
			通信運搬費	130,000	0	0	130,000	122,640	7,360			
			手数料	72,000	0	0	72,000	49,847	22,153			
			保険料	535,000	0	△ 82,973	452,027	435,063	16,964			電話代、切手・往がき代
			委託料	10,000	0	0	10,000	2,052	7,948			
			賃借料	46,000	0	830	46,830	46,830	0			
			負担金補助及び交付金	20,000	0	0	20,000	10,476	9,524			市派遣職員給与計算委託料
			租税公課	1,790,000	0	144,219	1,934,219	1,934,219	0			パソコンリース外
				133,000	0	319,050	452,050	452,050	0			
				3,161,000	0	0	3,161,000	3,160,900	100			消費税及び地方消費税
				22,478,000	0	0	22,478,000	21,426,611	1,051,389			
施設管理費			消耗品費	592,000	0	0	592,000	557,683	34,317			
			光熱水費	9,037,000	0	△ 1,129,096	7,907,904	7,566,135	341,769			
			修繕費	800,000	0	1,129,096	1,929,096	1,929,096	0			給排水設備の修繕外
			通信運搬費	25,000	0	0	25,000	23,640	1,360			
			手数料	30,000	0	0	30,000	0	30,000			
			保険料	55,000	0	0	55,000	54,810	190			
			委託料	11,939,000	0	0	11,939,000	11,295,247	643,753			印刷、空調保守、警備保安委託外

大	科		目	当初予算額	補正額	予備費支出 及び流用増減	予算現額 (a)	決算額 (b)	差異 (a-b)	備考
	中	小								
男女共同参画推進費										
男女共同参画推進事業費										
			報償費	25,367,000	△ 1,188,210	0	24,168,790	22,673,491	1,495,299	
			旅費交通費	9,099,000	0	0	9,099,000	7,999,542	1,099,458	
			消耗品費	3,135,000	0	△ 212,830	2,922,170	2,621,750	300,420	講師、託児研礼
			食糧費	159,000	0	0	159,000	69,150	89,850	
			印刷製本費	748,000	0	△ 1,854	746,146	720,226	25,920	
			購材料費	15,000	0	1,854	16,854	16,854	0	
			通信運搬費	2,287,000	0	0	2,287,000	2,147,310	139,690	情報誌、調査報告書外
			広告料	45,000	0	0	45,000	23,519	21,481	
			手数料	190,000	0	0	190,000	97,903	92,097	
			委託料	300,000	0	0	300,000	300,000	0	生活情報誌イベント告知掲載料
			貸借料	50,000	0	0	50,000	0	50,000	
			負担金補助及び交付金	1,145,000	0	77,260	1,222,260	1,222,260	0	事業委託外
			ファミリーサポートセンター運営事業費(合計)	425,000	0	135,570	560,570	560,570	0	0)VD)レングル
			ファミリーサポートセンター運営事業費(行况)	600,000	0	0	600,000	220,000	380,000	男女共同参画支援事業助成金
			報酬	16,258,000	△ 1,188,210	0	15,069,790	14,673,949	515,342	
			福利厚生費	10,012,000	△ 1,188,210	0	8,823,790	8,566,119	257,671	
			報償費	4,196,000	0	7,912	4,203,912	4,203,912	0	
			旅費交通費	712,000	0	△ 7,912	704,088	686,366	17,722	
			消耗品費	378,000	0	0	378,000	330,625	47,375	
			食糧費	43,000	0	0	43,000	36,080	6,920	
			印刷製本費	55,000	0	0	55,000	54,008	992	
			購材料費	1,000	0	0	1,000	810	190	
			通信運搬費	441,000	0	△ 9,956	431,044	311,861	119,183	
			広告料	115,000	0	0	115,000	112,860	2,140	
			手数料	4,000	0	0	4,000	0	4,000	
			保険料	584,000	0	0	584,000	582,460	1,540	賠償責任保険
			貸借料	156,000	0	3,960	159,960	159,960	0	
			負担金補助及び交付金	2,886,000	△ 1,188,210	0	1,697,790	1,697,790	0	

ファミリーサポートセンター運営事業費(介護)	6,246,000	0	0	6,246,000	6,107,830	138,170
報酬	4,168,000	0	0	4,168,000	4,143,852	24,148
福利厚生費	669,000	0	0	669,000	663,535	15,465
報償費	123,000	0	1,425	124,425	124,425	0
消耗品費	38,000	0	0	38,000	21,110	16,890
食糧費	1,000	0	0	1,000	810	190
印刷製本費	257,000	0	△ 55,374	201,626	122,299	79,327
賄材料費	0	0	6,102	6,102	6,102	0
通信運搬費	239,000	0	43,887	282,887	282,887	0
広告料	115,000	0	0	115,000	112,860	2,140
保険料	453,000	0	0	453,000	452,990	10
貸借料	156,000	0	3,960	159,960	159,960	0
負担金補助及び交付金	27,000	0	0	27,000	27,000	0
事業活動支出計	106,496,000	△ 1,188,210	△ 2,133	105,305,657	100,111,971	5,193,686
事業活動収支差額	3,812,000			3,814,133	2,814,133	1,000,000

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

大	科		当初予算額	補正額	子備費支出 及び流用増減	予算現額 (a)	決算額 (b)	差異 (a-b)	備考
	中	小							
			0	0	0	0	0	0	
	特定資産取崩収入		0	0	0	0	0	0	
	退職給付引当資産取崩収入		0	0	0	0	0	0	

2. 投資活動支出

大	科		当初予算額	補正額	子備費支出 及び流用増減	予算現額 (a)	決算額 (b)	差異 (a-b)	備考
	中	小							
			2,812,000	0	2,133	2,814,133	2,814,133	0	
	特定資産取得支出		2,812,000	0	2,133	2,814,133	2,814,133	0	
	退職給付引当資産取得支出		2,812,000	0	2,133	2,814,133	2,814,133	0	

III. 予備費支出の部

大	科		当初予算額	補正額	子備費支出 及び流用増減	予算現額 (a)	決算額 (b)	差異 (a-b)	備考
	中	小							
			1,000,000	0	0	1,000,000	0	1,000,000	
	予備費		1,000,000	0	0	1,000,000	0	1,000,000	
		予備費	1,000,000	0	0	1,000,000	0	1,000,000	


当期収入合計	当期収入合計 (A)	当期収入合計	当初予算額	補正額	子備費支出 及び流用増減	予算現額 (a)	決算額 (b)	差異 (a-b)	備考
			110,308,000	△ 1,188,210	0	109,119,790	102,926,104	6,193,686	
			50,000	0	0	50,000	50,000	0	→ 繰越準備金
			110,358,000	△ 1,188,210	0	109,169,790	102,976,104	6,193,686	
			110,308,000	△ 1,188,210	0	109,119,790	102,926,104	6,193,686	
			0	0	0	0	0	0	
			50,000	0	0	50,000	50,000	0	→ 繰越準備金


監 査 報 告 書

平成27年 5月6日

公益財団法人松山市男女共同参画推進財団
理 事 長 鎌田 サチ子 殿

公益財団法人 松山市男女共同参画推進財団

監 事 武智 弘泰 

監 事 村上 正明 

私たち監事は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの事業年度における理事の職務執行について監査を行なったので、次のとおり報告するものである。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 業務監査については、理事及び使用人から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用い、業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧等、必要と思われる監査手続きを用い、計算書類の正確性を検討した。

2 監査意見

- (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないものと認める。
- (3) 収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める。